



# ニオイバンマツリ [ 匂蕃茉莉 ]

常緑 / 低木 / 木本植物 / 外来種



**科名** ナス科 (APGⅢ)

**特記** 生長：普通

初夏から夏に5弁の漏斗状の芳香ある花をつける。咲き始めは濃い紫、次第に薄くなり咲き終わりは白くなる。次々咲いてくるので、紫と白色の咲き分けのように見える。寒さと乾燥は苦手で、寒い地方では落葉する。霜が降りない地方で配植できる。南米原産のナス科の植物。



## Memo

樹名は「外国より渡来したマツリカ」の意。芳香があるため科は異なるがジャスミンの一種に喩えた。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期					■								
果 実													■ (実がなることは少ない)
紅 葉													
施 肥					■ (緩効性肥料がよい)					■			
剪 定										■ (花後早めに)			

好みの環境		
日当り	陽	○ ○ 陰
土 壌	乾	○ 湿
寒 さ	強	○ 弱
暑 さ	強	○ 弱
潮 風	強	○ 弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○ ○						○

**ポイント** 寒さと乾燥の対策がポイント。春・秋は日当たり良く、夏は強い日差しや西日を避けた場所が適している。水切れしないよう注意。関東北部など寒い地方では鉢植にして冬期は屋内に避難させるとよい。

**剪 定** 自然にこんもりとした樹形になるが、枝が混み入ってきたら、花後早めに枝を間引いて風通しよく維持する。翌年の花付がよくなるとともに、カイガラムシやハダニなどの発生を防ぐことができる。

**病虫害** カイガラムシ、ハダニが発生することがある。